



## 「主体性」と「共感性」のある生徒に

校長 木股 一郎

桜の花びらが春風に舞いはじめ、いよいよ春爛漫となってきました。

140名の新入生、10名の転入教職員を迎え、平成31年度がスタートしました。4月、校長として本校に赴任しました木股と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

昨日の始業式で、「令和」という新しい時代の小泉中学校を創るために、また自らの未来をたくましく切り拓いていくために、「主体性」と「共感性」を大切にしたいという話をしました。

「主体性」は、自分から求め、自分で考え、進んで取り組むことです。問題や課題を自分のこととしてとらえ、話し合っ解決していく力です。学習にも、生徒会や学年・学級の活動、行事にも、子どもたちには主体的に力いっぱい取り組んでほしいと思います。

「共感性」は、仲間たちと共に学習や活動をする中で、お互いの思いや考えを、想像したり考えたり感じたりする力です。

人には様々な違いがあります。顔かたち、得意なことや苦手なこと、性格、考え方や感じ方、みんな違います。でも、みんな大切な、かけがえのない仲間です。違う人が集まって一緒に生活すれば、問題やトラブル、意見の対立が起こります。でも、大切な仲間です。どんなに違っていても、お互いの思いや考えを想像したり考えたり感じたりすると、問題の解決の糸口が見えてきます。一人でも多くの仲間と、思いや考えを伝え合い、わかり合い、「共感」し合う人間関係ができれば、安定した心で、穏やかにのびのびと学習や活動に向かうことができるように思います。

赴任してから一週間余り。本校の教職員の、子どもたち一人一人の成長と幸せを願う情熱、やる気に圧倒されてきました。ベテランから若手まで、それぞれの持ち味やよさを十分に発揮し、また、さらに伸ばしながら、子どもたちと共に歩んでいきます。どうぞ、今年度も小泉中学校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。

